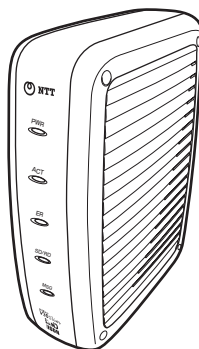

セットを確認してください……………	24
各部の名前……………	25
停電になったときのために……………	27
接続します……………	29

お使いになる前に

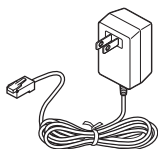
お使いに
なる前に

セットを確認してください

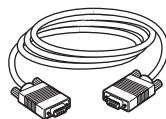
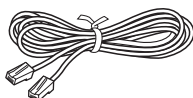
■本体



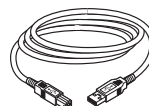
■付属品



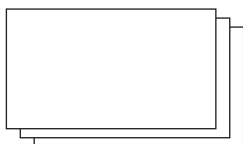
電源アダプタ (1 個) 電話機コード (1 本:約 3 m)



RS-232C ケーブル
(ストレート 1 本:約 1.5 m)



USB ケーブル (1 本:約 1.5 m)

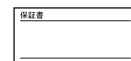


取扱説明書 (簡易版) (1 部)

- ・最初にお読みください
- ・電話・ファクス機能の使いかた
- ・安全にお使いいただくために必ずお読みください/故障かな?と思ったら



CD-ROM (1 枚)
専用CD-ROMの使い方 (1 部)
※電子マニュアル収録



保証書 (1 枚)



NTT 通信機器お取扱
相談センターシール (1 枚)

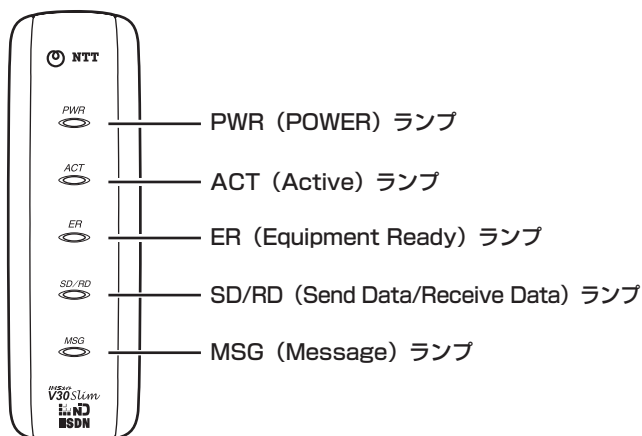
- セットに足りないものがあったり、印刷物に不備があった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- イラストと形状が異なる場合があります。

■電子マニュアルについて

本商品付属の CD-ROM には、INS メイト V30Slim の「取扱説明書」および「参考情報」が PDF 形式で収録されています。お読みいただくためには、Adobe Systems Incorporated (アドビ・システムズ社) の Adobe Acrobat Reader® DC または、それに類する機能が必要です。

Adobe Acrobat Reader® DC のインストールが必要な場合は、Adobe Systems Incorporated (アドビ・システムズ社) のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

【前面】



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方 (色)	本商品の状態
PWR (POWER) ランプ	点灯 (緑)	電源が入っているとき
	遅い点滅 (緑)	バージョンアップに失敗したとき
	遅い点滅 (赤)	電池動作モードで動作しているとき (●P190)
	消灯	電源が入っていないとき
ACT (Active) ランプ	点灯 (緑)	非同期/同期 PPP 変換で通信中のとき (●「参考情報」)
	点灯 (赤)	128K マルチリンク PPP で通信中のとき (●「参考情報」)
	速い点滅 (緑)	RS-232CポートまたはUSBポートで発信・着信中のとき
	遅い点滅 (緑)	回線に異常があるとき (●P190)
	点滅と点灯の繰り返し (緑)	着信転送または疑似着信転送を行っているとき (●P132) (ただし、回線異常表示およびデータポート状態表示が優先されます。)
消灯	データポートで通信していないとき、また着信転送・疑似着信転送を行っていないとき	
ER (Equipment Ready) ランプ	点灯 (緑)	接続されているパソコンのER信号がオンのとき (●「参考情報」)
	消灯	接続されているパソコンの ER 信号がオフのとき
SD/RD (Send Data/Receive Data) ランプ	点灯 (緑)	パソコンから本商品へデータを転送しているとき
	点灯 (赤)	本商品からパソコンへデータを転送しているとき
	消灯	データ転送を行っていないとき
MSG (Message) ランプ	点灯 (緑)	センタにメッセージがあるとき (Lモード*1、INSメッセージ到着お知らせサービス*2をご利用の場合) (●P99、101)
	消灯	センタにメッセージがないとき、またはLモード、INSメッセージ到着お知らせサービスを利用していないとき

※ 1 「Lモード」サービスは、平成 22 年 3 月 31 日をもってサービス提供を終了しています。

※ 2 「INS メッセージ到着お知らせサービス」は、平成 26 年 2 月 28 日をもってサービス提供を終了しています。

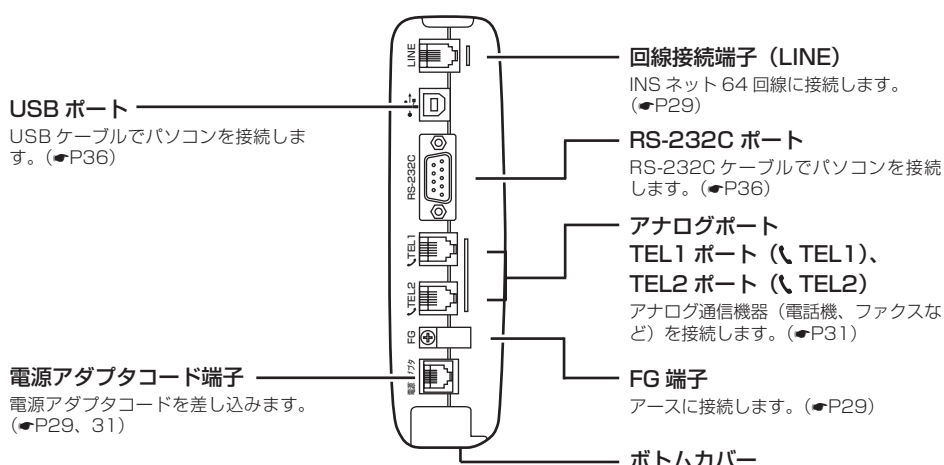
ワンポイント

● ランプの点滅のしかたについて

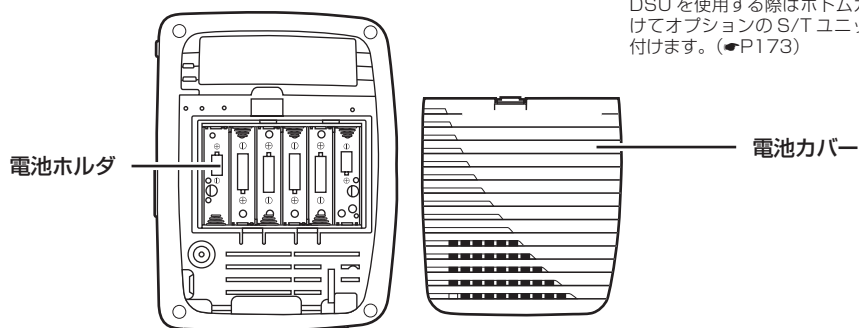
遅い点滅：1 秒間に約 1 回の点滅 速い点滅：1 秒間に約 5 回の点滅

各部の名前

【背面】



【左側面】



ワンポイント

- RS-232C ポートと USB ポートについて
 - RS-232C ポートおよび USB ポートは、パソコンを接続して使用します。

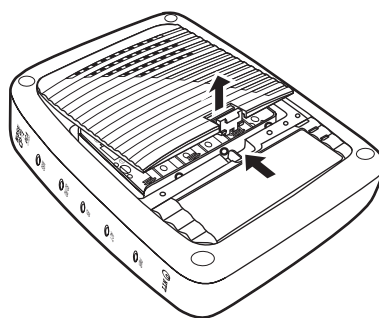
お知らせ

- RS-232C ポートと USB ポートを同時に使用することはできません。

停電になったときのために

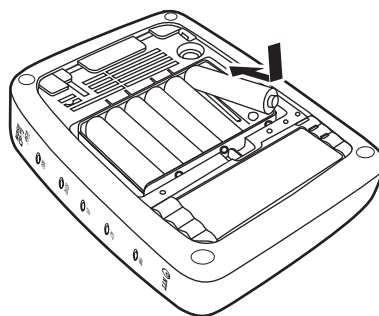
本商品に市販の単3アルカリ乾電池（6本）を入れておくと、停電時には自動的に電池動作モードに切り替わり、電話をかけたり、データ通信をすることができます。乾電池はお客様でご用意ください。
電池動作モード中はPWR（POWER）ランプが赤く点滅し、すべてのポートが使用可能です。

- ① 電池カバーのツメを内側に押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。

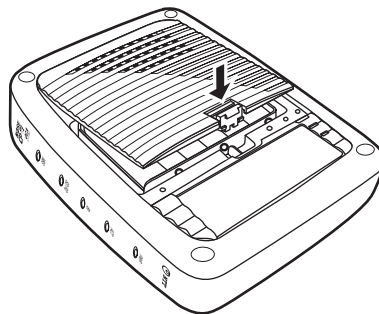


- ② 単3アルカリ乾電池を6本入れます。

乾電池を入れるときは、プラス（+）・マイナス（-）の向きを確かめて入れてください。



- ③ 電池カバーを取り付けます。



お使いに
なる前に

停電になったときのために

(前ページの続きです)



お知らせ

- 新品の乾電池で待ち受け時間約 3 時間、または 1 つのアナログポートの通話で通話時間約 2 時間の動作ができます。乾電池の残量がなくなると、本商品は動作しなくなります。
- パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合は、パソコンの電源を切ると電池動作モードに切り替わり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。
- オプションの S/T ユニットの S/T 端子に INS ネット 64 用通信機器を接続する場合は、停電時に動作可能な機器をお使いください。
- オプションの S/T ユニットの S/T 端子や RS-232C ポートまたは USB ポートに接続した機器の種類によっては、乾電池の消耗を早めるものがあります。停電時は、必要でない機器を本商品から外してください。

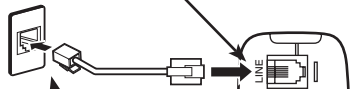
接続します

本商品を INS ネット 64 回線に接続し、電話機やファクス、パソコンなどを接続します。本商品には DSU が内蔵されていますが、オプションの S/T ユニットをご利用になると、すでにお持ちの DSU をご使用になることもできます。(P173)

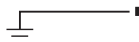
1 INS ネット 64 回線の接続

回線の接続作業は、INS ネット 64 回線の工事完了後に行ってください。

- 1** 付属品の電話機コードを回線接続端子 (LINE) につなぎます。



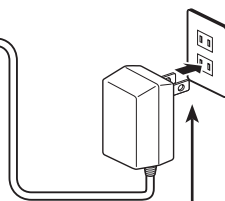
- 2** 電話機コードを INS ネット 64 回線用モジュラージャックにつなぎます。INS ネット 64 以外の回線には接続しないでください。本商品は INS ネット 64 回線の極性を自動認識し、動作します。



- 3** アース線を FG 端子につなぎます。落雷などの雷撃事故による人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。
※アース線は、お手元的环境に合った長さのものを、別途お買い求めください。



- 4** 電源アダプタコードを電源アダプタコード端子につなぎます。



- 5** 電源アダプタを電源コンセント (AC100 V、50 Hz または 60 Hz) に差し込みます。これで電源が入ります。

(次ページへ続きます)

ワンポイント

- すでにお持ちの DSU をご使用になるには (P173、178)
オプションの S/T ユニットをご利用になると、本商品に内蔵の DSU を使用しないで外付け DSU をお使いになることができます。

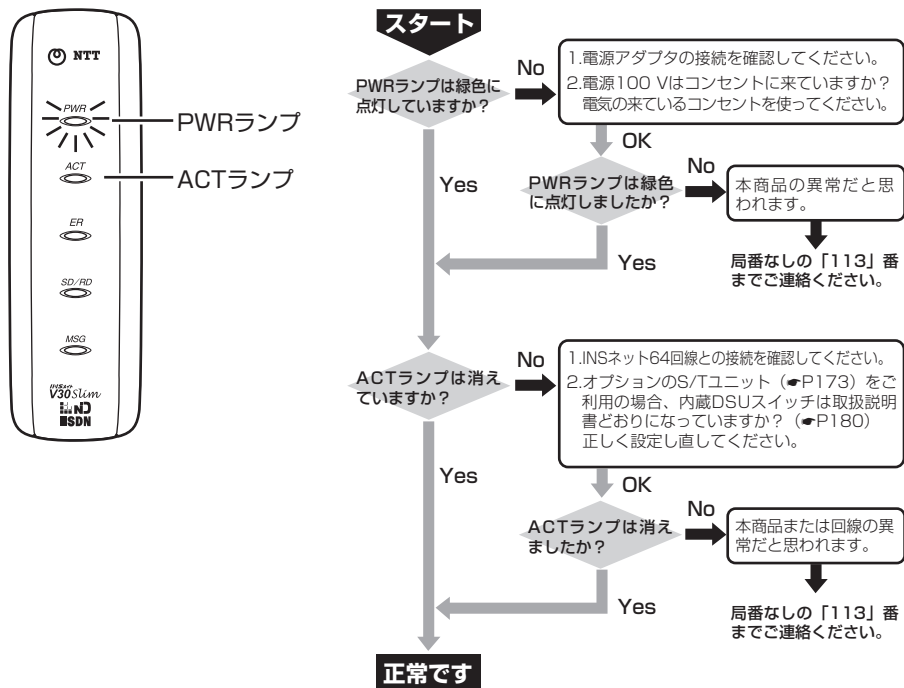
お知らせ

- 電話回線のコンセントがモジュラージャック式でない場合は、工事が必要です。局番なしの 116 番または当社の営業所等へご相談ください。
- 本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの 116 番または当社の営業所等にご連絡いただければ、機器使用料は不要となります。

(前ページの続きです)

2 動作の確認


電源アダプタをコンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。
終了すると、PWR (POWER) ランプだけが緑色に点灯した状態になります。このような状態にならない場合は、右図で原因を見つけてください。



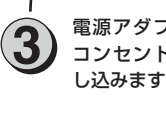
3 電話機などの接続

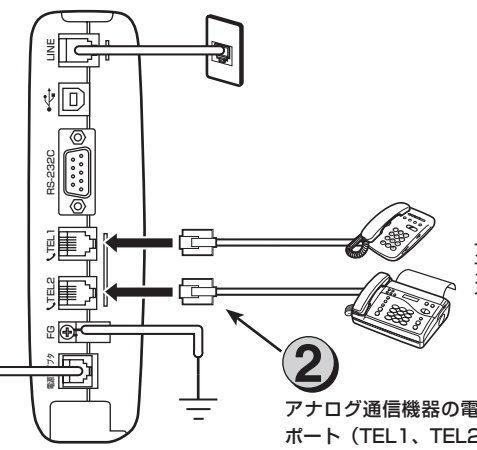
電話機などの機器を接続する前に、必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

1 電源アダプタをコンセントから抜きます。



3 電源アダプタをコンセントに差し込みます。





アナログ電話機、
アナログファクス、
モデムなど

2 アナログ通信機器の電話機コードを、アナログポート (TEL1、TEL2) につなぎます。
一般の電話回線に接続するプッシュ式 (PB) のアナログ通信機器 (電話機、ファクスなど) を接続できます。

- アナログ通信機器を 1 台のみ接続する場合は
TEL1 ポートに機器を接続し、TEL2 ポートは接続機器の設定を「何も接続しない (使用しない)」に設定します。

TELで設定 (ハンドセットを取りあげる → * * * → ② ① ⑧ * ① → # → ハンドセットを置く) (●P146)

PCで設定 (●P45)

- ダイヤル式 (DP) のアナログ通信機器をお使いになる場合は
ダイヤル種別を「DP 固定」に設定します。

TELで設定 (●P148)

PCで設定 (●「参考情報」)

- Lモード対応のアナログ通信機器を接続する場合は
本商品の設定が必要です。(●P99)
(次ページへ続きます)

お使いに
なる前に

接続します

(前ページの続きです)



ワンポイント

● **本商品以外の INS ネット 64 用通信機器を接続するには (P173、179)**

オプションの S/T ユニットをご利用になると、本商品以外のターミナルアダプタや INS ネット 64 用通信機器をお使いになることができます。



お知らせ

- (財) 電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
- 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
- 料金管理装置などを接続してご使用になると、通信事業者からの通信料金の請求額とは必ずしも一致しない場合がありますので、ご注意ください。
- アナログポートに接続したアナログ通信機器の受話音量や自分の声が大きく聞こえる場合は、アナログ通信機器の PAD を設定してください。アナログ通信機器の PAD 設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください。



お願い

- アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長 200 m (0.5 φ) を目安としてください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- 1 つのアナログポート (TEL1、TEL2 ポート) には 1 台のアナログ通信機器を接続してください。ブランチ接続はできません。1 つのアナログポートに複数の通信機器を接続すると、使用できないことがあります。アナログ通信機器にブランチ接続用の端子がある場合でも、この端子には何も接続しないでください。

4 電話がかけられることの確認

接続した電話機から、電話がかかることを確認します。つながらない場合は、電話機の接続と、電話機のダイヤル種別が「トーン」(プッシュ対応)に切り替わっているかをご確認ください。

- ① 電話機のハンドセットを取りあげ、117(時報サービス)などにダイヤルします。

ダイヤル後は、そのままお待ちください。



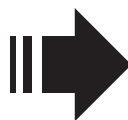
- ② 時報などが聞こえることを確認します。

- ③ ハンドセットを置きます。



お知らせ

- 117番に電話をかけると通話料金がかかります。



- ・ パソコンをお使いの方は
引き続き、「パソコン準備編」へ進みます。(☛P35)
- ・ パソコンをお使いでない方は
「電話／ファクス編」へ進みます。(☛P73)

